

(地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所  
青森県 青森地方水産業改良普及所  
むつ水産事務所  
水産振興課  
青森市水産振興センター

# ホタテガイ採苗速報

## 産卵は停滞気味です

平成30年3月5～8日に湾内7地点で養殖2年貝の成熟度調査を、3月5日に東湾2地点で地まき貝の成熟度調査を、3月5日に湾内9定点でラーバ予備調査を行ったので、その結果をお知らせします。

### 1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均、東湾平均、全湾平均でそれぞれ18.4、21.6、20.2と、前回(19.9、21.7、21.0)とほぼ同じで、産卵は全湾で停滞気味です(図1～2)。異常貝率は、西湾でかなり高い地区があります。各地の測定結果は表1のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は19.5と東湾平均の平年(18.8)とほぼ同じ状況です(図3)。異常貝率は高い地区があります。各地の測定結果は表2のとおりです。

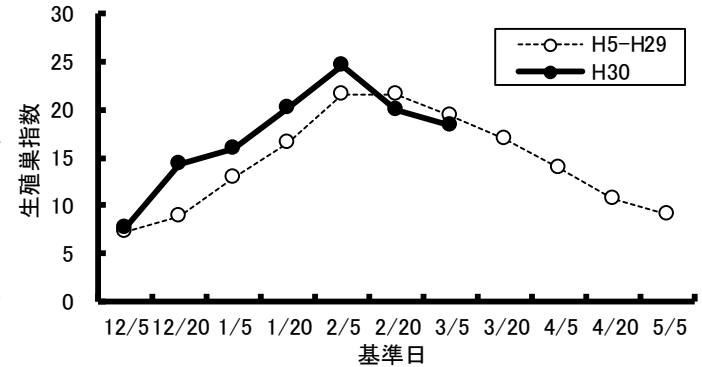


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

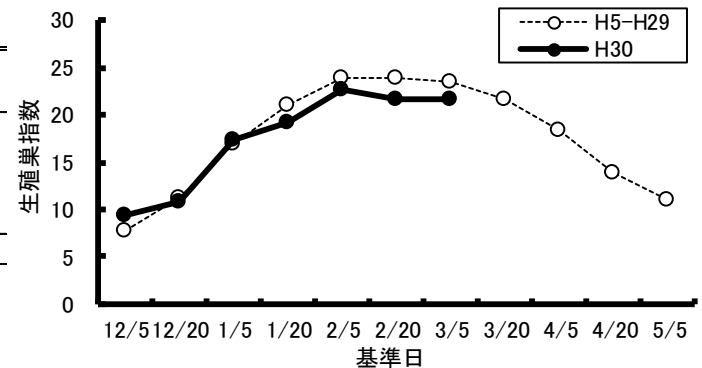


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

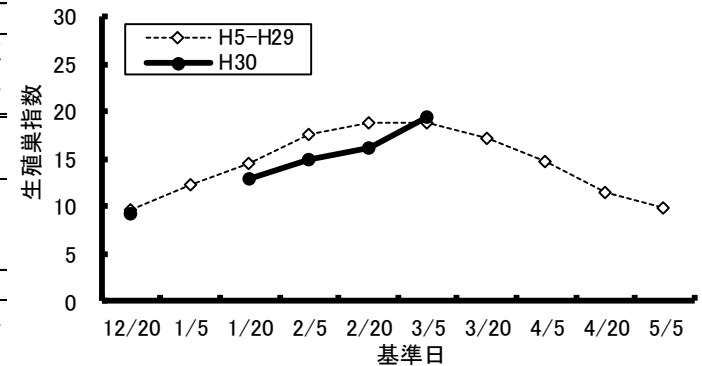


図3 地まき貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

表1 垂下養殖2年貝の測定結果(調査基準日 3月5日)

調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量(g)	軟体部指数	生殖巣重量 (g)	生殖巣指数	異常貝率 (%)
蓬田村	欠測						
青森市奥内	3月6日	10.5	121.8	47.4	38.9	10.1	21.1 [22.4] 30.0 (5.8)
久栗坂実験漁場	3月5日	10.3	132.6	54.2	40.1	9.3	17.1 [17.9] 90.0 (6.4)
平内町浦田	3月8日	10.8	126.7	57.4	45.1	9.9	17.1 [19.5] 3.3 (6.4)
西湾平均		10.5	127.0	53.0	41.4	9.8	18.4 [19.9] 41.1 (4.9)
野辺地町	3月7日	10.8	158.6	78.2	49.4	16.0	20.5 [21.3] 0.0 (0.8)
むつ市	3月5日	9.3	97.6	48.5	49.7	11.8	24.2 [25.1] 36.7 (3.5)
むつ市川内町	3月5日	10.0	105.0	46.9	44.6	9.7	20.5 [18.0] 20.0 (1.6)
川内実験漁場	3月5日	11.3	158.3	75.2	47.5	16.0	21.2 [22.5] 0.0 (1.8)
東湾平均		10.4	129.9	62.2	47.8	13.4	21.6 [21.7] 14.2 (1.9)
全湾平均		10.4	128.7	58.2	45.0	11.8	20.2 [21.0] 25.7 (3.4)

[ ]: 前回の値  
( ): H5-H29の平均値

表2 地まき貝の測定結果(調査基準日 3月5日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量(g)	軟体部指数	生殖巣重量(g)	生殖巣指数	異常貝率 (%)
野辺地町	欠測							
むつ市	3月5日	10.7	136.1	65.7	48.2	14.2	21.4 (19.2)	6.7 (0.7)
むつ市川内町	3月5日	9.9	116.9	50.1	42.7	8.9	17.7 (19.0)	23.3 (1.3)
東湾平均		10.3	126.5	57.9	45.5	11.5	19.5 (18.8)	15.0 (0.9)

( ): H5-H29の平均値

### 2 海況

各ブイの3月2～8日の週別平均水温は表3のとおりです。15m層の3月第1半旬平均水温は、平館ブイ、東湾ブイでやや低め、青森ブイで平年並みとなっています。

表3 各ブイの1週間(3/2～8)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	7.0～7.5	東田沢ブイ	-	浜奥内ブイ	1.6～2.1
蓬田ブイ	6.2～6.7	清水川ブイ	4.6～5.0	川内ブイ	2.6～3.2
奥内ブイ	-	野辺地ブイ	3.9～3.9	脇野沢ブイ	2.7～2.9
青森ブイ	6.0～6.1	東湾ブイ	3.4～3.6		
浦田ブイ	-	横浜ブイ	-		

-: メンテナンス中

### 3 ホタテガイ等ラーバ予備調査

ホタテガイのラーバ出現数は、西湾平均で861個/m<sup>3</sup>、東湾平均では879個/m<sup>3</sup>と、昨年同期3月6日の調査時(それぞれ1,613個/m<sup>3</sup>、3,046個/m<sup>3</sup>)よりも少ない値でした(図4～6)。

ムラサキガイとキヌマトイガイのラーバ出現数は全湾平均でそれぞれ128個/m<sup>3</sup>、556個/m<sup>3</sup>と、昨年同期(それぞれ92個/m<sup>3</sup>、326個/m<sup>3</sup>)よりも多い値でした(図7～8)。

### 4 今後の見込み

産卵は停滞気味ですが、今後、水温の昇温刺激があると東湾でも大規模な産卵が始まります。産卵状況、ラーバ出現状況、採苗器投入時期については、今後の情報を参考にしてください。なお、昨年よりラーバ出現数が少ないので、採苗器を例年より多めに準備してください。

広がる海の知識!

身につける新たな技術!

漁業後継者育成研修『賓陽塾』

塾生募集中!! 詳しくは水産総合研究所 ほたて貝部まで



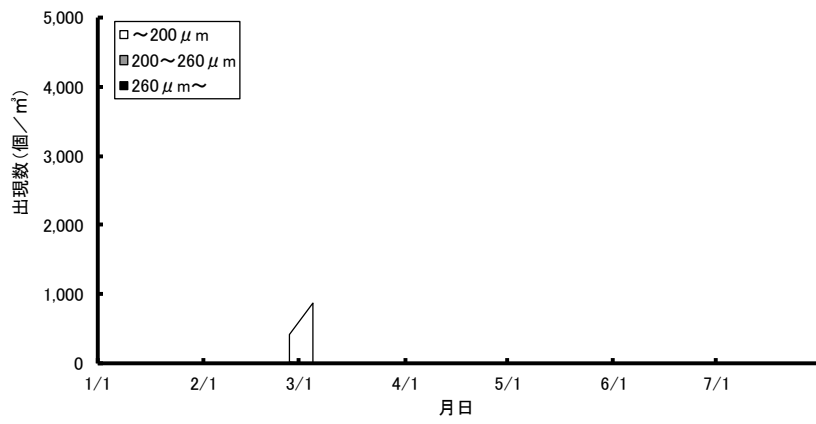


図4 西湾におけるホタテガイラーバ出現数

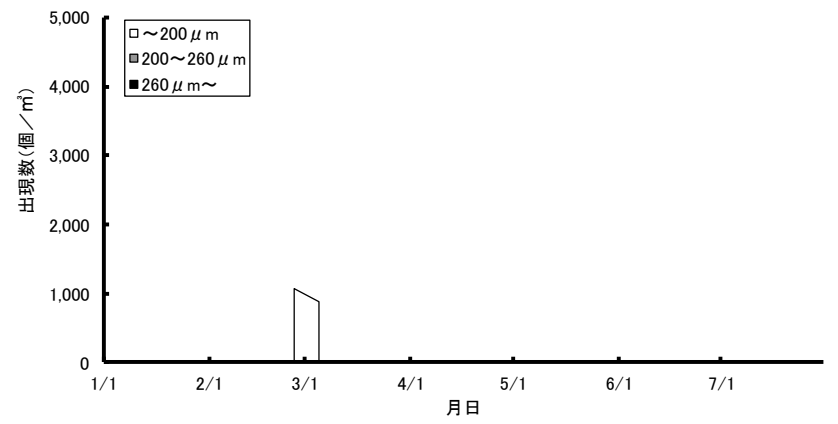


図5 東湾におけるホタテガイラーバ出現数



図6 調査地点別におけるホタテガイラーバの平均出現数(個/m<sup>3</sup>)

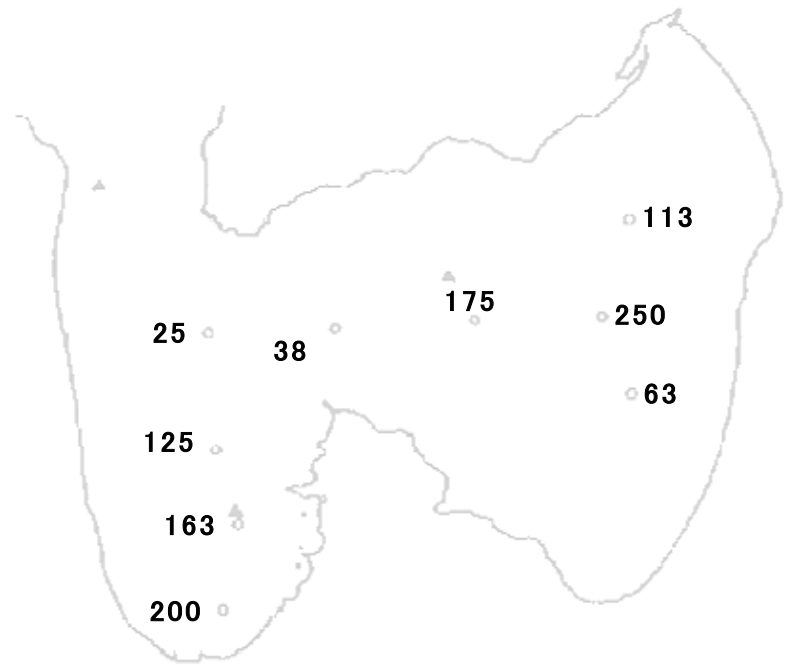


図7 調査地点別におけるムラサキガイラーバの平均出現数(個/m<sup>3</sup>)



図8 調査地点別におけるキヌマトイガイラーバの平均出現数(個/m<sup>3</sup>)